

## 1954 丹頂形



木材の代わりに銅板を用いて製作した公衆電話ボックスである。クリーム色のボディと赤い屋根の形状が鶴を連想させるため、丹頂形と呼ばれた。そのデザインは、戦後の街に彩りを提供した。

## 1964 A-BOX



1964年に東京オリンピック大会会場付近での使用が始まり、1969年に全国的に導入した。組立式の公衆電話ボックスで、組立と解体が容易に行えた。四方を透明なガラスにしたため、盗難やいたずらを防ぐ効果もあった。

## 1991 C-BOX



3つのカラーバリエーションをもち、景観にあわせて設置した。従来の公衆電話ボックスよりもボックス内スペースが広がっている。また、ボックス内の温度上昇や地震などの対策も行い、利便性向上を実現している。